

「セリ」の定植から栽培管理について学びました

9月7日に開催したセリの栽培勉強会に5名が参加しました。農事組合法人本堂城回理事の杉澤隆一氏を講師に招き、種セリの調整作業から栽培管理について学びました。参加者からは、病害虫対策や肥料に関する質問が寄せられました。

第5回美郷ブランド作物栽培勉強会は「セリ」の予定です。詳細は広報美郷令和3年11月号でお知らせします。



— MISATO BRAND FARM PRODUCTS —

美郷ブランド作物栽培勉強会



問●町農政課 農業振興班 ☎0187(84)4908

訂正とお詫び

広報美郷令和3年9月号22ページに掲載した「生薬の里 美郷」で薬樹名に誤りがありました。次のとおり訂正し、深くお詫び申し上げます。(誤)ナツメグ (正)ナツグミ

美郷町の歴史と文化をたどる

煙火打揚用筒



煙火打揚用筒

今月は、昭和53年に有形民俗文化財として指定した「煙火打揚用筒」をご紹介します。

煙火打揚用筒について

日本で花火が作られたのは、天文12年(1543年)の鉄砲伝来以降であり、最初に花火を見た日本人は、江戸幕府の初代将軍徳川家康といわれています。慶長16年(1611年)から元和2年(1616年)に書かれた駿府政事録に、中国の花火師が夜花火を見せたと記されています。その後、18世紀後半には木筒と呼ばれる花火の打ち上げ筒の原型ができあがっています。指定された煙火打揚用筒は、千屋村の花火師であった煙山宇之吉(1861年～1912年)により作られた煙火筒2本です。筒の長さは、それぞれ1.8メートル、3.6メートルを測ります。煙山氏は、村で最も優れた煙火師で、大曲の花火に使用するため、自ら球と煙火筒を製作し、荷車で運んだといわれています。

文

化

財

探



訪

No.14

学友館 だより

問●美郷町学友館
☎0187(84)4920
(図書館直通)

学友館では、「心に残った本の紹介コンクール」で応募していただいた全作品を期間限定で展示します。応募作品は合わせて727点でした。たくさんのご応募ありがとうございました。さまざまな年代の応募者による紹介を見て、友だちの紹介文を読んで、新しい本に出会ってみませんか？ぜひ足をお運びください。ご来館お待ちしております。

期 間●10月6日(水)～10月16日(土)
開館時間●午前8時30分～午後5時15分
※月曜日は休館日です。

ご来館
お待ちしております



BOOK

文芸美郷

川柳

片づけをし過ぎて逆にもの探し
 黄金の稲穂が踊る秋祭り
 あざ笑うゴルフのパターまた外れ
 物言わぬ夫の替わりは電気機器
 商品券何に使うかまた悩む

元本堂北部 齊藤 しほ子
 西高方町 入海小夜子
 中野 深澤 光二
 上畑屋 高橋 房雄
 上野荒町 鈴木 直保
 上畑屋 小林 大悟

俳句

赤とんぼ止まる間あいも等しくて
 温暖化不安のつる厄日かな
 新高を日の温み込め束ねけり
 秋茄子を漬けて厨の灯を落す
 炎天日奈曾の白滝涼気す
 いき抜いてな お澄み渡る秋の空
 想いでの流しそうめん鯉の味

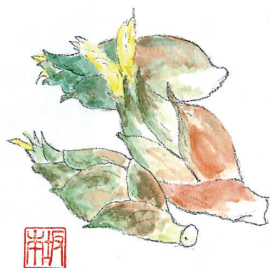
六郷 高橋みつを
 千屋 戸澤 陽子
 金沢西根 加藤 省市
 金沢西根 加藤 栄子
 橋本 木村 タエ
 善元寺 高橋 悦子
 愛知県 照井 光文

短歌

戦争はやつぱりいやだこれだけは父フィリピンミンダナオの海
 空蟬を拾う木の陰蝸の啼いて寂しい移ろいの秋
 十年の才月過ぎて帰らざり詔る言葉も語る術なく
 生き過ぎのその先で鳴く蟬の声杖を頼りにあしたへ向う
 「柔道着」したたる程に汗しみて洗う務めの母親はうれしく
 短歌友がぼつりぼつりと欠けゆきて競う意欲の萎える寂しさ
 障害があると思わぬ技があり努力のかけの金色メダル
 一息に地中の秋を吸い上げて朱の曼珠沙華鮮やかに咲く
 「南部鉄」求め風鈴喜寿集い思出ともにコロナの癒し
 大白森誰にも会わず山を下り着いた鶴の湯満車にマスク
 高校の同級生の短歌見て今日も出たかと新聞を見る
 大戦を逃れ逃れて此の地へと酷雪コロナ乗り越える
 常日頃灯らぬ部屋に明かりつき家族や身内の団欒見ゆる
 亡き娘と早三歳すぎ墓まいり残暑の光り孫の背を射す
 通り雨隣家まで来て止まりたり庭が乾きて待つていたのに
 にこやかな夫の遺影は何語るただ見つめ居り時を忘れて
 八月になれば必ず思い出す三十五歳で戦死の父を
 牧草を刈り終えし後子等の声猛暑にめげずキャッチボールす
 日を追って重く垂れ行く稲の穂は今朝の小雨に生き生きと見ゆ
 夢の島五輪の都と成り昔今遙かな記憶なりにけるかな

土崎南部 加藤 榮子
 安城寺上 森元 宏美
 千屋南部 戸澤 稜生
 大町 藤本 昇
 六郷 岩田 貞
 金沢 野村 秀夫
 六郷 籠谷 ミチ
 伊藤 敏子
 愛知県 寺澤 良子
 天神堂 中江紗代子
 田の尻 藤原 一男
 千屋 深澤 幹子
 千屋 高橋 重寿
 元村 照井富士男
 第一晩 小田敏子
 小荒川 齊藤 キミ
 羽貫谷地 武田 敏男
 大畑 高橋 リツ
 塚 高橋 茂子
 米町 高橋 茂

イラスト



「茗荷(みょうが)」
 坂本 和子さん(六郷)

作品(短歌・俳句・川柳・イラストなど)を募集します

作品には読み仮名をおふりいただき、応募される方のお名前、住所、電話番号を明記のうえ、10月8日(金)までご応募ください(子どもたちからの作品等も受け付けていますので、ぜひご応募ください)。なお、応募は1点とし、応募者多数の場合は掲載できないことがあります。また、内容が広報掲載上好ましくない作品については掲載しません。

応募先 ● 町総務課、六郷出張所、仙南出張所
 町のメール info@town.misato.akita.jp

訂正とお詫び

広報美郷令和3年9月号23ページに掲載した「文芸美郷」の作品の中で、一部誤りがありました。次のとおり訂正し、深くお詫び申し上げます。

- ・高橋 茂子さん(塚)の短歌 (誤) 東に連なる山は緑増し裾野に静かな泉立ち並ぶ (正) 東に連なる山は緑増し裾野に静かな家立ち並ぶ

学友館から 新刊図書のご案内

問い合わせ ● 図書館 ☎0187(84)4920

今月のオススメ

- 婿どの相逢席 西條 奈加(著)
- アガワ流生きるピント 阿川 佐和子(著)
- 九十八歳。戦いやまず日は暮れず 佐藤 愛子(著)
- イナバさんと雨ふりの町 野見山 響子(文絵)
- おまく 柳田 国男(原作)、京極 夏彦(文)



- 一般図書
 - 青森の八戸にある小さな本屋さんの猫がかわいいポップの本 ポップ担(著)
 - 死者の告白 奥野 修司(著)
 - ヤマザキマリの世界道選録 ヤマザキ マリ(著)
 - お一人さま逃亡温泉 加藤 亜由子(著)
 - 無印良品ではじめる新しい習慣 水谷 妙子(著)
 - 花のあとさき 伊藤 純(著)、百崎 満晴(著)
 - 子どもはできて大人はできない!? まちがいさがし 北村 良子(監修)
 - 白光 朝井 まかて(著)
 - 医学のつばさ 海堂 尊(著)
 - 亜ノ国ハ 柏葉 幸子(著)
- 児童書
 - 世界のふしぎ断面図鑑 リチャード・プラット(文)
 - SDGsでわかる今ない仕事図鑑ハイパー 澤井 智毅(監修)
 - かずさんの手 佐和 みずえ(作)
 - ふしぎ町のふしぎレストラン 4 三田村 信行(作)
 - みんなのためいき図鑑 村上 しいこ(作)
- えほん
 - すやすやおやすみ 石津 ちひろ(ぶん)
 - どうぶつ勝負(かちまけ)はつけよい! 大橋 慶子(作)
 - 眠り猫 宝井 琴調(文)
 - そらめくんのまいにちはたからもの なかや みわ(さく)
 - かうかうからす ほそい さつき(作・絵)